



加藤英雄県議

命 人権

守りぬく県政へ

コロナ がけ崩れ 通学路 校則 柏児相エアコン

日本共産党加藤英雄県議は、9月27日の一般質問で、新型コロナウイルス感染対策、土砂災害防止、通学路の安全、県立高校での生徒の人権に触れる校則の見直し、県立柏児童相談所の空調機故障放置をとりあげました。

新 型 コ ロ ナ

加藤…くり返される感染爆発は科学を無視を無視した国の大失政・人災

「国は知見をふまえ、ワクチン接種を総合的にすすめてきた」(知事)

感染者数が過去最多を更新し続けた第5波。加藤県議は、PCR検査を抑え、「GOTOキャンペーン」や五輪・パラリンピック強行など、科学を無視した菅政権による人災だ。知事も「人流削減」を言いながらパラリンピック学校観戦の旗振りを役となり、結果、関係者から感染者がでた、と厳しく指摘しました。しかし知事は大失政を認めず、菅政権を事実上擁護しました。

加藤…入院が原則、自宅療養ゼロの千葉県をめざし、必要な医療提供を

「自宅療養者に健康観察、生活支援、家庭内感染防止を指導」(県)

県内でも自宅で容態急変し亡くなる方が続出。加藤県議は、感染症対策の基本は感染源・感染者を確認し、医療機関やホテルへ保護・隔離すること。自宅療養では保護・隔離にならないと強調しました。県は状況に応じて入院、ホテル、自宅のいずれが適当か判断と強弁しました。

加藤…PCR検査キットを定期的に無償配布し無症状者の大規模検査を

「発熱者、国の疫学調査要領対象者、クラスター発生施設で検査」(県)

感染者数が減少傾向のいまこそ、検査で無症状者を発見することが重要。加藤県議は、陽性なら保護・隔離し、陰性が確認できれば、社会・経済活動に参加する「千葉方式」の実施を求めました。県は「幅広く検査している」と言いますが、有症者中心の範囲を出ていません。

加藤…次の波に備え、今から1000床の臨時医療施設開設の準備を

「限られた医療資源をどう配分するか、検討」(県)

県は昨年、「爆発的な感染拡大発生した場合の病床不足に備える」として、1000床分を予算化(現在66床確保)。加藤県議は、自治体や県医師会、県看護協会、医療機関などとの協議の開始を求めました。県は「検討」との答えに留まりました。

この他のテーマについては、
次回の県議会だよりで報告します。

日本共産党 Japanese Communist Party

